

防災連絡会議だより

20号

(令和4年5月18日)

発行 北斗市防災連絡会議

今年の総会 いつものように対面で実施 議案はすべて承認

ー昨年の秋に開催された研修会から久しぶりに会員の方々とお会いできる総会となりました。こうした対面での会議の良さを改めて認識できる機会ともなりました。議案書の説明でも触れましたが、活動の成果としては、取り組んできた活動がハンドブックに反映されることになったことがあげられます。防災ハンドブックの改訂をめざす活動は、地域を知り、スキルアップにつながると考えていますので、散歩しながら、それぞれの地域の避難路の標示のチェックをお願いいたします。また、代表3人制から代表1名とする従来の形に戻した新たな役員体制が承認されました。下の囲みの表をご覧ください。

今年は防災連絡会議にとって今後の地域の防災活動を展開する意味においては正念場と思っています。無理しないで、楽しく、時には結集して防災の課題についてやり切りたいと思いますので、今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

<役員紹介>

代表 上野廣幸、副代表 菱田繁樹

総務部長 栃木正則、事業部長 石塚正男 研修部長 高橋悦郎

地域委員 川内谷洋子、木村秀美、田原勝昭、虻川勝男、長谷川一夫、坂井 修

☆彡 最新の活動とニュースに拾う

★高齢者大学での防災講座始まる 5月13日 北斗市総合文化センター

昨年に引き続き、連絡会議が担当する防災講座が始まりました。今年のテーマは洞爺丸台風。熊本昇さんは当時汽車通をしていた学生時代に洞爺丸台風と遭遇。その時の記憶をもとに家族総出の台風対策、学校や駅の様子について丁寧にお話をされていました。このように災害の記憶を伝承することも防災活動としては大事なことですね。6月29日、浜分ふれあいセンターで同じテーマで熊本昇さんと上野廣幸が再びタッグを組んで防災講座にのぞみます。



※写真（講師の熊本昇さん）

☆大雨もたらす「線状降水帯」 半日前めどに発表へ 気象庁

発達した積乱雲が帯状に連なり大雨をもたらす線状降水帯。6月1日から、発生のおそれのある半日前をめどに予測結果を発表することになりました。線状降水帯は予測が難し

いのですが、水蒸気の観測体制やスーパーコンピューター「富岳」を活用した予測技術の強化に取り組んだ結果によるものです。気象庁、函館地方気象台に感謝ですね。

★ 防災ハンドブックの改訂をめざす（北斗市）

昨年の道の津波浸水想定の見直しを受け、ハザードマップ改訂のため538万円を計上し、新たに3万部を作成する。市総務課は「市民の代表でつくる防災連絡会議で内容を議論し、わかりやすいものにしたい」としている。また、排水ポンプの能力向上や排水路整備などの内水氾濫対策として3350万円を計上……。 「函館新聞から一部抜粋」

浜分地区での会員のための地域研修会の開催（ご案内）

○日時 5月24日（火） 午後1時から午後4時

○場所 七重浜住民センター 3階会議室

○目的 北斗市防災ハンドブック改訂についての連絡会議の意見の集約

※七重浜住民センター周辺の避難場所や避難路の標示を数か所見て回りますが、歩く距離は700m程度です。会議のみの参加もOKですので是非ご参加ください。

■持参するもの 北斗市防災ハンドブック

○締め切り 5月23日（月）までに事務局まで電話でお知らせください。

浜分地区の防災課題について地域を見て考え、意見交換しましょう！

写真はトライアルの屋上からコスモ石油函館物流基地を撮影したものです。写真の中央を斜めに道南いさりび鉄道が走っています。また、石油タンク群も見えますね。

北斗市には大切な道南いさりび鉄道があります。津波避難経路の確保という点からすると、踏切の問題や迂回しなければならないといった問題もあります。浜分地区にも同様の問題がありますが、地震による長周期地震動による石油



タンクの火災などの心配もあります。また、避難先が北斗市ではなく、函館市の高台への避難となりそうです。北斗市でも地域的な災害リスクは異なりますので、それぞれの地域に対応した防災訓練が必要となっています。

5月14日の新聞には、「千島・日本海溝で想定の大規模地震 特別措置法の改正案可決・成立」という記事が掲載されています。その主な内容は①避難経路の整備、避難施設の整備費用の補助率を南海トラフ地震対策並みに引き上げられたこと。②低体温症について特に配慮しなければならないと新たに明記されたこと。厳しい厳冬期の防災訓練を実施した道が、どのような具体的な防災対策を示すのか注目されることです。

事務局 北斗市総務部総務課交通防災係

電話 73-3111（内線 212） メール bosai@city.hokuto.hokkaido.jp